

平成29年度

保護者セミナー開催のご案内

講師による講話のほか、同じ悩みを抱える方々と意見交換をしていただく時間を設けています。「子どもにどう関わればよいのか」、「解決に向かうにはどうしたらよいのか」など、一緒に考えていきませんか？

6月のセミナー 平成29年6月17日（土）

セミナー講師：前敦賀短期大学教授 龍谿 乗峰 氏

テーマ：「カウンセリングと家族支援

～親や家族だから見えにくいこと・できにくいこと～

現状を理解し、職業的自立を促すために親の関わり方を、
ケースをもとに考えます。

【講師紹介】 現在は、大学や専門学校などで講師をされており、
専門分野は家族臨床心理学、カウンセリング臨床などです。
浄土真宗本願寺派乗秀寺の現任職です。



時 間：13：30～16：00

対 象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方

定 員：20名 （申込み方法：事前に「サポステふくい」までお電話ください。）

場 所：敦賀市男女共同参画センター内（敦賀市三島町2丁目1番6号）

内 容：講師によるセミナー・意見交換ほか

参加費 無料

サポステふくい（ふくい若者サポートステーション）とは…。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

4月開催のセミナーレポート

日 時：平成29年4月22日（土）

テーマ：「足踏みとうずくまり、“諦めれば”ってどう言うこと？」

講 師：前敦賀短期大学 龍谿乗峰氏

先生は、ひきこもりという言葉や、足踏み・うずくまっている状態として、自立へのひとつの段階であることを一つの事例を通して話されました。今の状態を言葉で言い表し、数値化（スケール）して、その変化を具体的に自覚することで、気持ちにも変化がみられることがあります。これは「心の鏡」を自分の中に作る、自己カウンセリングの効果といえます。

その後、親や周囲の人たちの気持ちの持ちようとして、「あきらめる」ということの言いかえを皆さんで考えました。その言いかえた言葉を具体的な行動にうつすこと。そして、「何か一つ、小さなこと」に気づき、現状を「肯定的に見ること」で進展していく糸口がいろいろあることを、先生は具体的に話されました。その後、グループになり参加者の質問に対して先生が答えていきました。

その中で、家族はメンバー全体が共に成長していき、第三者の関わりや支援が作用することで、足踏み、うずくまりの状態から変わっていくことを話されました。



【お問い合わせ】サポステふくい（ふくい若者サポートステーション）

福井市光陽2丁目3-22 福井県社会福祉センター1F

TEL 0776-21-0311